

二風谷アイヌクラフトプロジェクトにおけるコラボ商品開発

概要

平取町二風谷地区に脈々と受け継がれてきたアイヌの伝統文化をもとに、地元工芸家と一般公募するデザイナーやメーカー（以下、クリエイターという）とのコラボレーションによって、現代のデザインやライフスタイルに合わせたものづくりを行い、アイヌ工芸の新たな市場開拓を目的とした取り組みである。令和3年度は「暮らしにとけこむアイヌデザイン」をテーマとして5つの開発チームが組成し、工芸家によるアイヌ工芸の文化や技術を活かしながら、公募クリエイターのアイデアによって5アイテム（色・デザイン展開によるバリエーションは除く）が誕生した。

開発商品



【開発チーム101】 原田元輝×貝澤守

【商品／商品名】 万年筆／inuye（イヌイエ）

【商品内容】 持ち手にアイヌ文様をレーザー彫刻で施した万年筆。飾って眺めるのではなく身近にあり実際に使われるもの、デザインと工芸が融合したものと考え開発された。

【販売価格】 22,000円（税込）



【開発チーム102】 今福弘樹×尾崎友香

【商品／商品名】 ポディバッグ／RATA（ラタ）

【商品内容】 二風谷アイヌの伝統であるカパラミプ（白布切抜文衣）の切伏刺繍文様を現代のファッションとして再構築し、手縫い刺繍による生地（マスターピース）を作成。このマスターピースをスキャン／生地化し、現代のアイテムを製造、商品化する。

【販売価格】 7,095円（税込）

二風谷アイヌクラフトプロジェクトにおけるコラボ商品開発



[開発チーム103] 川村真優香×貝澤太一

【商品／商品名】 つぼ押し／Kewotne (ケウオツネ)

【商品内容】 二風谷地区に生息するハンノキを使用したツボ押し。成型から木彫までを手作業で行う。自然の素材を手作業で製造するため、一つひとつの形も異なり、独特の風合いを兼ね備える。

【販売価格】 4,400円(税込)



[開発チーム104] 白柳緋里×原田祥吾

【商品／商品名】 晴雨兼用折りたたみ傘／Apunno (アプンノ)

【商品内容】 ユニセックスデザインの晴雨兼用折りたたみ傘。小さくグラスファイバー製で軽いので気軽に持ち運べる。アクリル製の持ち手にレーザー加工でアイヌ文様を施した通常版（傘生地は4色で展開）と、木製の持ち手に手彫りで文様を施し、好みの傘生地の色を選べるセミオーダー版を製作。

【販売価格】 6,050円(税込)



[開発チーム105] 川村真優香×柴田幸宏

【商品／商品名】 ベルト／Iram no (イラムノ)

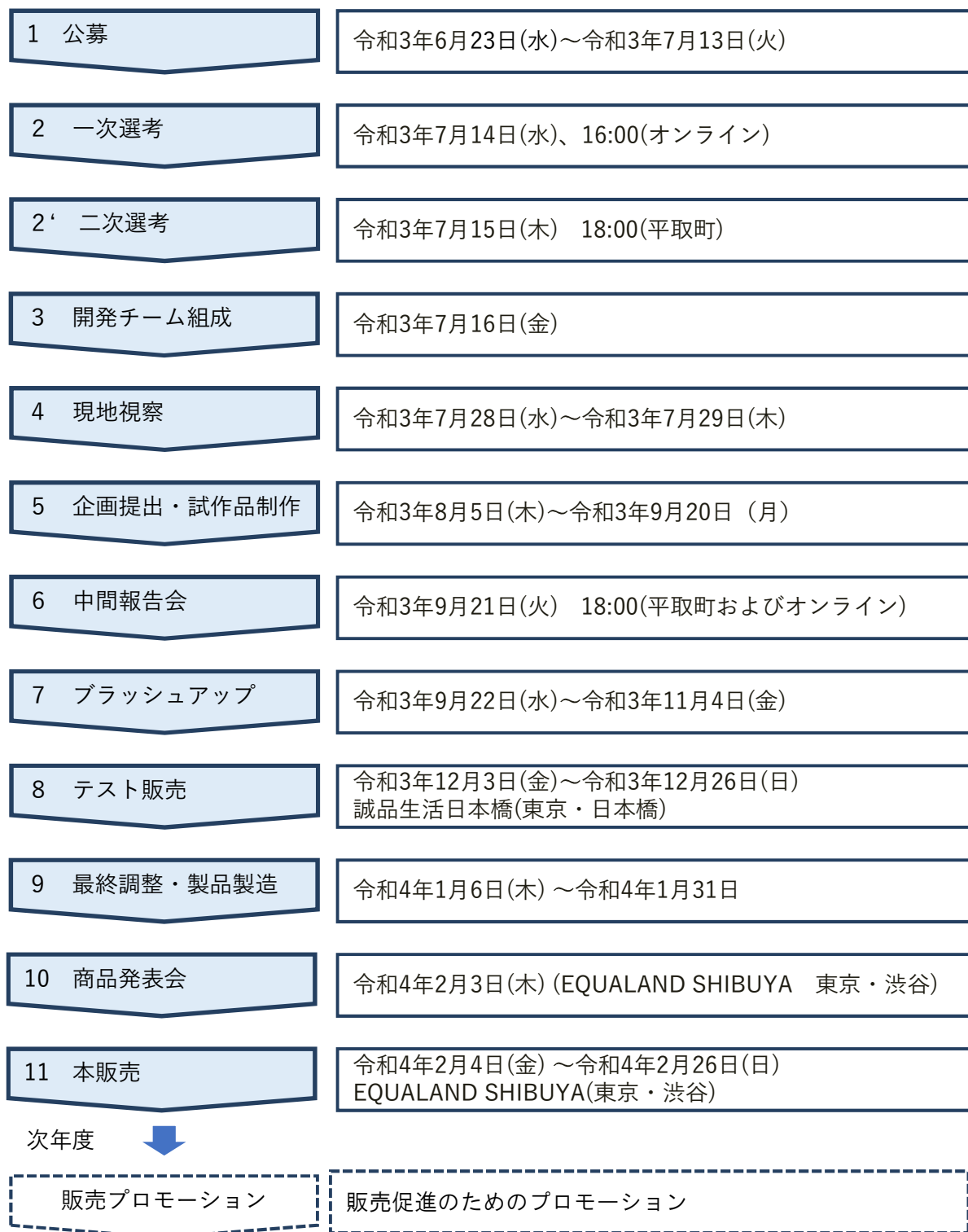
【商品内容】 アイヌ伝統工芸のアットゥシ織りと、北海道の蝦夷鹿革を使用したデザインベルト。

【販売価格】 35,640円(税込)

二風谷アイヌクラフトプロジェクトにおけるコラボ商品開発

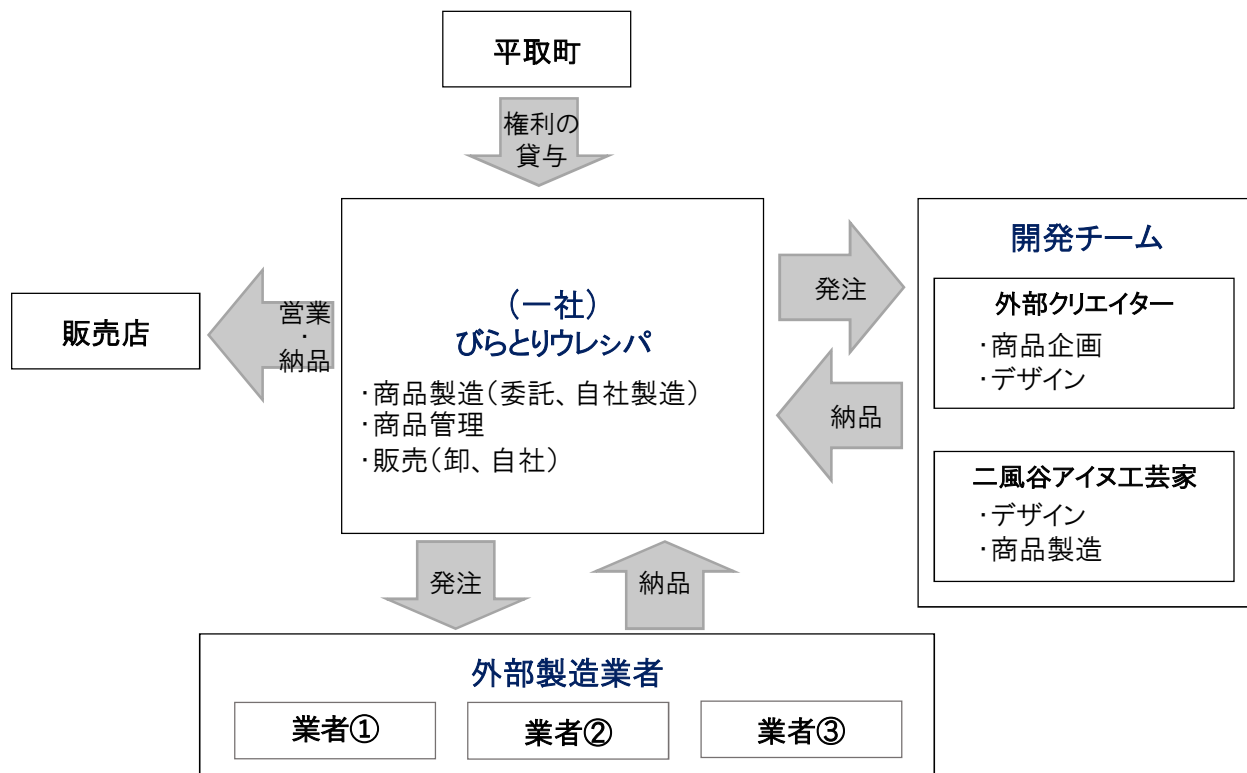
開発フロー（全体）

コラボ商品開発の公募から成果発表会までの流れは次のとおり。



二風谷アイヌクラフトプロジェクトにおけるコラボ商品開発

スキーム



まとめ

- ・ロゴを入れた共通タグを制作し、すべてのコラボ商品に添付した。共通ロゴをつけることでブランドの統一感を図った。
- ・最も売れたのは万年筆だった。ナチュラルとホワイトの2デザインで展開したが、わずかだがナチュラルの方が人気が高かった。
- ・次いで販売数が多かったのは折りたたみ傘で、4色のうち、カーキとブラックが人気があった。
- ・パッケージについてはオリジナルを製造することが予算的にも難しいため、一般流通しているものを活用したが、商品の仕様にあったものを選択することはもとより、本事業においては他の商品とのトンマナを合わせる必要があるため難しかった。
- ・学生クリエイターとのコラボでは外部製造業者の選定が難しかった。
- ・商品によっては製造業者が多岐にわたり製造管理が煩雑になり、それにより工数や時間がかかるため、出来るだけシンプルな工程で取り組むことが求められる。